FRUiTS 4月号　通巻21号　1998年4月1日発行（毎月1回1日発行）平成10年8月28日第三種郵便物認可
FRUiTS
4
1999
フルーツ
No.21
500yen
14/3
原宿フリースタイル

fruits-mg.com

february.1999

原宿 Freestyle

コート：小さいころの
セーター：着てない
シャツ：きてない
スカート：古着
エプロン：古着
シューズ：無印
帽子：文化屋の
バッグ：ナショナルスタンダード
帽子：文化屋の
ファッションのポイント：学校着
美容室：くぼさん
今ハマッている事：かぜなおし
好きな音楽：いいやつ
ゆっきー（16才）、高校生

Ka'eL

カーディガン：デブで。
シャツ：じぶん。
スカート：じぶん。
シューズ：友達からかりた
ネックレス：えりっちからもらった
ファッションのポイント：しろいところ。
美容室：じぶんで。
今ハマッている事：じゅけんべんきょう。
好きな音楽：マリリン・マンソン、SHAZNAとか。
みっちー（15才）、中学生

コート：古着やで、800円♡
セーター：オゾン
スカート：古着→デプラスモン
バッグ：オゾン
ファッションのポイント：スカートの中にはいてるへんてこスパッツであったか♡
美容室：長野にあるかわいい美容室
今ハマッている事：就職探し、ウイッグあそび
好きな音楽：最近は、COCCOが好き。
つか（20才）、大学生

LIP HIP
advanced clique
セーター：古着
ブラウス：お母さんの（下着）
スカート：自作
シューズ：地元で
帽子：路上で拾った
ゆびわ：ぐるぐるガム、ヴィヴィアン
ファッションのポイント：あれている髪の毛
美容室：自分
今ハマッている事：映画、おもちゃ、ラメラメ
好きな音楽：JAM
まこっぺ（16才）、高校生
セーター（上）：古着
セーター（下）：アルゴンキン
スカート：古着のラメラメ
シューズ：地元で
バッグ：サンリオで大安売
帽子：あことおそろ
ゆびわ：ぐるぐるガム
ファッションのポイント：人魚っぽいラメラメ
美容室：シザース（地元）
今ハマッている事：ラメラメ、キンダーサプライズ
好きな音楽：hide、zilch、JAM
なおっぺ（17才）、高校生

上着：無印良品
セーター：パーリッシィ
スカート：古着（セレンディピティ）
シューズ：コンバース
バッグ：無印良品，卓矢エンジェル
マフラー：文化屋で440yen
ファッションのポイント：ミドリづくし，春らしく。
美容室：BOUZU&SHIMAカットモデル
今ハマッている事：みどり色。
好きな音楽：スカ，パンク，(KEMURI)
カオリ（20才），短大生（文化）

コート：古着
上着：古着
セーター：ベティーズブルー
スカート：古着
シューズ：姉の
バッグ：FENDI
ファッションのポイント：大人
美容室：つけ毛
好きな音楽：CASCADE
18才、高校３年生

コート：着てない
セーター：W<
ワンピース：W<
シューズ：ローソク力 新宿店のみなさん元気ですか？
バッグ：beauty:beast
メガネ：[illegible]
帽子：大西りこ[illegible]
アクセサリー：100円均一とヒカナちゃんにもらったラメ入り星
ファッションのポイント：ピンク[illegible]
美容室：自分（神戸Boxhill6F）
今ハマッている事：風邪…きついよ
好きな音楽：このごろ色々ききます
（19才になったよ。）、なったって社会人
──稔樹（弟）の友達の田口くん、しゅんくん大ファンです。たけもとしゅうへいのばか!!

コート：古着
上着：ヒス
セーター：古着
パンツ：ビンテージジーンズ
シューズ：ドクターマーチン
バッグ：ハンティングワールド
ファッションのポイント：古着でラクに
美容室：自分とボリューム
今ハマッている事：DJやりたいなー
好きな音楽：パンク、バンドやりたいなー
スケ（18才）、高校3年生

カーデガン：あさひや
シャツ：パナマボーイ
スカート：下北のフリマ
シューズ：オールスター
帽子：てづくり
アクセサリー：あやしいインドのお店
ファッションのポイント：ない
美容室：行ってないです。
今ハマッている事：あみもの，つけ毛
好きな音楽：なんでも好きです。
ようこ（18才），販売員

上着：古着
セーター：モリハナエ
スカート：古着
シューズ：モック
バッグ：紀ノ国屋（中の袋は手づくり）
ファッションのポイント：JETのアロエ
美容室：VOLUME
今ハマッている事：斉米など。あと雑学王になる事。
好きな音楽：バイdaバイ
林くり（メンマ）（18才）、高校生

セーター：OZOC
スカート：RINRIN（ミドリ）＆さおりちんにもらった（アオ）
シューズ：もこもこ
アクセサリー：ロンドンオミヤゲ。
バッグ：ヴィヴィ。
ファッションのポイント：ねぎあたま。
美容室：aparie　エクステンションは自分でつけた
今ハマッている事：アトリエ・フラン
まきんこ。（17才）、高校生（美大志望−−ムリムリ−−）

DJタクヤエンジェル＋カツミエンジェル＋ヤマカワエンジェル＋ゲストDJ

前売／￥1500（＋1D）フリーチケット制（2/末ヨリ配布）

INFO

3/27
PM 9:00〜
渋谷
SUGAR HIGH
ニテ

コート：マルコム マクラーレン
シャツ：ヴィヴィアン ウエストウッド
パンツ：クリストファー ネメス
シューズ：NIKE
帽子：ヴィヴィアン ウエストウッド
ファッションのポイント：80's LONDON
今ハマッている事：外食、旅行
好きな音楽：いろいろ
しょう しょう（26才）

コート：5年位前ベティーズ ブルーで
シャツ：古着
スカート：自作♡
シューズ：コージ クガ
バッグ：妹（ゆきえちゃん）の
ファッションのポイント：ビリビリクラッシュウーメン
美容室：GIRL LOVES BOYとか
今ハマッている事：ライブでもえちゃう♡
好きな音楽：GLAY、JAM、チャラ、椎名林檎
しまダゆみこ（17才）、高校生

上着：古着
セーター：古着
スカート：ヘラティックゴーズラウンド
シューズ：XTM
バッグ：古着
ファッションのポイント：おもしろく
美容室：pep's
今ハマっている事：将来設計
好きな音楽：ハウス、パンク
ジュン（21才）、フリーター

にでもいくんでしょ？

上着：チャイルドウーマン
セーター：バーゲンで。
ワンピ：手づくり。
パンツ：シマロン
シューズ：コージクガ
ファッションのポイント：林家ペー
美容室：Nuts
今ハマッている事：写真、梅こんぶ
好きな音楽：JAM
サトミ（20才）、大学生

セーター：クーデェター
シャツ：古着
スカート：MELODY SQUARE
シューズ：500円の（安す!!）
ファッションのポイント：3日れんぞく（おとまりの為）
美容室：自分（おかん）
今ハマッている事：あの人
好きな音楽：JAM
アキヨ（19才）、はんばい

上着：古着
セーター：古着
パンツ：古着
シューズ：フリーマーケット
バッグ：グレゴリー
ファッションのポイント：安い
美容室：友達
好きな音楽：トランス、ドラムンベース、ハウス
（20才）、専門学校生

上着：サーカスティック
シャツ：BDB、デビロップ
帽子：supreme
ファッションのポイント：パジャマ
美容室：友達
好きな音楽：HOUSE
エツレ（19才）、専門学校生

OLD SKOOL
OLD SKOOL
OLD SKOOL
OLD SKOOL
OLD SKOOL

コート：プリティ
シャツ：ヒア ゼア
スカート：ヒア ゼア
シューズ：アンテナ
バッグ：ヴィヴィアン ウエストウッド
ファッションのポイント：つけげのけいと
美容室：ZAZA WAYS
今ハマッている事：長井さん（美容院の人）
好きな音楽：ペニシリン
マミ（16才）、高校生

コート：もらいもの
ファッションのポイント：刺墨
美容室：自分で
今ハマっている事：刺墨
好きな音楽：楽しく早いヤツ
(22才)、なし

上着：コロンビア
ファッションのポイント：ぼうし
美容室：友達
今ハマっている事：パソコン
好きな音楽：いろいろ
(19才)、カメラ屋

上着：古着（シカゴにて）
シャツ：インナーはパルコでビビアン
パンツ：X-girl(ラフォーレ)
シューズ：コンバース（ちょー古いの）
バッグ：イッセミヤケのリュック
帽子：ラフォーレの地下でかった
ファッションのポイント：古着ばっかり
美容室：サイドバーン、アバリエ
今ハマッている事：キヨシとあそぶ
好きな音楽：テクノのクラブ系の
すみれ（14才）、中学3年生

ジャケット：古着
パンツ：はるばる屋
シューズ：クロスマッチ¥2,900
ファッションのポイント：その辺に行くだけなのでない
美容室：ソラリスと自分
今ハマッている事：まさひろとの生活
好きな音楽：テクノ、ハードコア、まさひろ
みゆき（20才）、絵を描く

▲1856日前。一緒にいた私の相方。グレイ。
プレイリードッグのぶうちゃんは私の分身。

98ねん冬。大雪ふった。
外でた。気がついたら
こんなでっかい雪犬
つくってた。→
次の日64℃のネツ
だした。学校やスンダ。
ほんとのはなし…

うりと㋮
お気に入りプロり

こんにちは。とよたまこうこう3ねん□くみ24ばんのまきです。もうすぐ卒業。淋しすぎる。サッカー部最高。せんぱい。こうはい。それと3年間一緒だった51期のみんな。みんなといれて幸せでした。そして大スキなともだち。私はみんながいたから頑張れたこと。助けられたこといっぱいあった。ありがとうといっぱいいっぱい×82言いたい。
だいスキ
これからもこりずによろしくです。

Photo by TOMOTAKA

なんちゃってスケーターMaki

FRUiTS

ゆっきーとりかと㋮▲

ゆたゆたと
りかりかと
㋮ ラフォーレ前▶

スケと▶
しげぼーと
しゅうじと
㋮ 電車の中

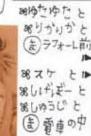
しゅうじと
㋮と
ヨコスケ▶

▶
㋮とKEMIちゃん
apärieのクリスマスパーティー

AQUA

の福岡のショーのとき。40℃のネツでへろんへろんになってた㋮を助けてくれた美しいモデルさんたち、ありがとう。アクアのみなさまには、たくさん迷惑かけてしまい。申しわけありませんです。野沢さんのめがステキでした。なおちゃん。東京きたときはまたウチに泊まってってね。吉祥寺のfeel（←ネイルズ）から始まり。いろんな美容師さんと知りあえて。いろんなことを学びました。HEAVENSの小松さんは最高です。魔法つかいです。天才です。369のダブルかっちゃんの笑口は私を成長させてくれます。大スキ。apärieの森山師匠には1番お世話になってます。いつも本当にありがとです。人間が大きくてかっちょいいSide-Burnの太塚さんといっぱいお話したいです。SHIMA吉沢さんバイクのっけて♥

へろへろ㋮▼

最近オモウコト・

今のこの歪んだ学歴社会で自分を表現していくのはスゴクムズカシイ。けどみんなたたかってて。でもたたかえる場があるって幸せなことだと思うです。それは忘れちゃいかんです。（顔）です。
1年前から、美大行きたくてアトリエ・フランに通ってますが。フランは先生も生徒も「仲間」ってかんじで。みんなへんてこで。でもすごくあたたかい人ばかり。私はこの空気。空間が大スキ。
今年は高校を卒業するのが私にとっては精一杯でした。だから今から。さらにみっちりきっちりかっきりめっきより絵のべんきょして来年また。本気で美大目指したいです。自分のやりたいようにやれって言ってくれてて。いつもかげで支えてくれてる家族がいて私はすごく幸せです。（顔）くいしんぼうでいつもありがと。

ギャルバージョン。

ヒョウバージョン。

チャイニーズバージョン。

オールあけバージョン。

はっちゃけバージョン。

食っちゃえバージョン。

＊おしまい＊
青木正一先生
ありまとう♥

友達募集のコーナー
お申込みの方法

友達募集したい人は、編集部あてのハガキに「友達コーナー」係と㉒を明記してください。
お手本

〒150-0021
東京都渋谷区恵比寿
西1-16-8-5F
ストリート編集室
「友達コーナー」係
㉒

→ ハガキの裏の半分に、友達募集のかんたんなメッセージやイラスト（○○県、ペンネーム、年令を入れてね。）を書いてください。
下半分には〒番号、住所、氏名、電話番号を必ず書いてください。
この部分は掲載しません。

友達募集！………
…………………
…………………
東京都.FRUiTS.18才

〒○○○-○○○○
住所、氏名、
TEL

→ 今月の友達募集の申込の〆切は、
3月2日必着（過ぎると無効になるぞ。）
抽選で決まります。

友達になりたい人は、編集部あてに「友達なりたい」係の、例えば㉑－Ⓐの○さんと明記してください。

〒150-0021
東京都渋谷区恵比寿
西1-16-8-5F
ストリート編集室
「友達なりたい」係
㉑－？　○○さん

なりたい人の〆切は、
3月23日必着
なるべくハガキで送ってください。（手紙の場合は定型サイズの封筒を使ってね。）

→ 1ヶ月後編集部でまとめて、友達募集した人にお届けします。少しめんどうな手続きになるけれど、安全で楽しい交流をしてほしいという編集部からの願いの表われですから。でも希望者が少なかったり、いなかったりしても悲しまないように。

注意！・募集は毎月、行います。毎回15人位掲載を予定しています。・例えば ㉒ と書いて、No.22に掲載されなかった場合、はずれです。ごめんなさい。また新たに応募してください。・必ずハガキで応募してください。（説明通りでないと無効になってしまいます。）・文字やイラストは黒のペンで書いてください。（印刷の都合上）

こんばんは FRUiTS さん さぶです
毎回すみからすみまで読ませてもらってます。
色んな人のハガキを読んでいたら書きたく
なってしまいました。自分は今、高3で
春に文化服装で服の勉強を楽しみに
しています。友達が言うには、もうデザイン画を
かいたりしている人もいるっていっていたので、
そんな線引に会えると思うと とてもとても
楽しみでしかたないという心境です。自分は
今、いろんなことがしたくて3年の2学期から「赤坂
見つけ」という駅の近くの銀細工学校に通ってて、
週1回だから進学後も通えそうだし かなりはまっ
ています。先生とも仲良くうでが なります。
最近家でも作業できるようにとガスバーナーの小さい
やつを買いました。家で火をあつかうのはきけんなので
親とケンカにもなりました。なんとか和解したと思う。
友達にゆびわやバングルなどを作ってあげたり
路上売りをして友達を増やしたりしていきたいと
思いながらつくってます。吉本バナナの本でエジプトの
ふんい気をゆびわにしたいとかの文がのっていて自分も
何かを感じとってそれを形にできたらなあと夢
見ています。そしたらこの前原宿にオーバーオールを買いに
行った時、目にちかい金の頭の女の子と目があいまして
そのコのふんいきがとてもすごくてすごくて、これは
いつか必ず銀細工としてそのコにあげたいと
おちゃくちゃ思いましたよ 感激でした。ブランド名は
「亜犬」と決めてます。また手紙出します。おやすみなさい

（埼玉県）

F：銀細工やってみたい。やり方知りたいな。

（北海道CHE）

FRUiTSさまへ
FRUiTSを読んでいると、私と同じような
悩みや考えをしている人たちがいっぱいいる
コトに気がつきました。
そして、NO.20の小さなガラクタさんのお話を読み
ました。今の私も似たようなことで悩んでました。
私も今のところ これと言った目標もなく、ただ何となく
すごしている感じでこのままじゃイケナイ！と思いはじめて
今、ちょっとでも変えたいと思って、小さな趣味を見つけ
ました。それは、絵とアクセサリー作りです。
好きなコト1つでもあるとハリにハリがでてくるような
気がするし、これで新しい友達ができたらいいなと
思うし…。それと、つまらない考えをなくすコト
（私はマイナス思考だから）と自分に自信をもつ
コト。こんな小さなことからでも少しずつ
変っていくとおもったの。ここからがんばろうと
思うよ！小さなガラクタさんもがんばりましょう!!
北海道・20さい。　元気だそうよ

NO20の59ページのタクスィー
ドライバーさん、かっこいいで
すね。ぜひとも、あたしのおやじ
になってください。って感じ
です。年も、親子ぐらいでぴったしだ
しね。――あんなおや
じはいいなぁ――。いいなぁ――！
うちのおやじもあんなかんじだっ
たらな……。バイクで、2人で、
そこらへんのりまわしたりとかし
て。とにかく、もう、タクシーにのら
せてください。（笑）空車ならい。

（埼玉県　はり　16才）

F：とても感じの良い人でしたよ。みんな。

minimini minimini minimini minimini
mini FRUiTS

マイ・ニュースペーパーってい
うコーナーを計画しています。
あきあき新聞や自己紹介のペー
ジをオープンにしようっていう
企画です。
次号で応募の方法をお知らせし
ます。

初めまして、青木さん、FRUiTSご愛読の方々、それから皆様、
私、FRUiTS界のしうこと申す18さいの女です。とつぜんですが
吉報です☆ みなさんご存じ「のど自慢」で、チャンピオンになって
しまいました!!! 私が、只今学校へ行くために住む、福島県は
会津若松市。白虎隊や鶴ヶ城で知られる若松は、今年で
市制100周年なのです。（おめでとう!）そのイベントで、のど自慢が
やって来たんです!! しうは夢中で応募して、600通のご応募から
250人の予選、そして20組の本選出場…やがては6組の
合格の鐘をならした中から…チャンピオンとなりました。びっくり!!!
北島三郎氏と香西かおりさまにも会えて、握手できてしあわせです。
うたったのは森高千里さんの「休みの午後」。遠くはなれた友達への
しうこからのメッセージです。3月14日ホワイトデイ放送!
ブスで失礼ではありますが、どうかみてあげて下さい。背中にはっている
のはしうの地元名物です。すごい思い出になりました。みなさんも機会
があったら参加すべきですよ。楽しい!! うちは市長と面談してきます! アデュー+
1/31日 しうこ

インフルエンザ、気を付けて。寒さに負けないで。

F：優勝はすごいですね。必ず見ます。

FRUiTサマ
こんにちは
毎月楽しみにしてます。
中身がとってもCuteで、
感動しています♥

あたしの素朴な質問
何がどうと、このCuteな
本の、FRUiTの由来は
何ですか？
前から知りたかったです。
教えてください!!

夢について
あたしの夢は、
イラストレーターになるコト。
あたしは、どうしたらこの
職につけるのかわからないので
困ってます。
あたしは16歳です。
夢は叶うでしょうか…。
もし、この文章を読んで、
知ってる!! とか、
アドバイスをしてくれる人、
あたしに教えてください!!
お願いします。

記念プリクラ
あたしは、FRUiTを
買うと、記念にプリクラを
FRUiTとともにとります。
買い始めたのは、ごく最近で…。
買い始めおそくてゴメンナサイ

BEST FRIEND

No.17にのってたPUNK18号サン、コロ助サン、あいことたきざわ兄さん
No.18にのってた魚さん、Tomoサン、いきいき栃木っ子サン
No.19にのってた智さん、ミルキーサン、9PIEサン
No.20にのってたキヨミちゃん、ハイジサン、ワンノォン
あたしに絵を教えてください!! お願いします!!

兵庫県 のりさん（16歳）

F：FRUiTSの意味はたくさんあるんです。みずみずしいこと、カラフルなこと、いろんな種類があることがファッションイメージと合うこと。実を結ぶとか成果とか作品っていう意味もあります。それと、フルーツって動物に食べてもらうために、植物が作ってるって、画期的な存在でしょ。だからフルーツを食べると気持ちがいいでしょ。

FRUiTSサマ 大好き大好き♥

はじめまして、こんにちわ。
いつもいつもFRUiTSを見て元気を付けていただいて
おりマス。mini FRUiTSは感動です。1人1人
つらい事があってもがんばってきたんだあと勇気づけ
られてマス。この頃、なんとなく自分を見失ってい(る)
みたいでずっと1人だった気がします。でも、そろ
そろ17サイになることができるので、生まれかわって
やろうっと思っています。何をしたらいいのか具体
的には決まっておりません。何をしたらよいでしょうか？
でも、とりあえず、ずーっと笑っていよう（？）と思いま
す。悲しい顔をしているよりは幸せがたくさん来る
ような気もするし…。smile・smile・smile
いいことある17になりますように。
P.S
つらいときは、空を見るといいデス。
何でもかんでも忘れさせてくれマス。

はるか（16さい）

（東京都）

binary

オーナー 松本敬一

ジャンピングシューズとハイパーな品揃えとオリジナル衣料で知る人ぞ知るお店、バイナリィのオーナーの松本敬一さんのインタビュー。

FR　松本さんはもともとは何をやっていたんですか？

松本　もともとはアメカジをやってたんですよ。バックドロップっていうところにいたんですけど、原宿にプロペラっていうお店がありますよね、そこを始めるときに、社長から原宿に100坪の店を作るからやらないかって言われて。最初は社長と僕と、もう一人代官山でリフトとサークルっていうお店をやってるツノダくんと三人でオープンしたんですよ。彼はもともと韓国からスケボーとかを買ってきて路上で売ってて、そこに声をかけて「これどうなの？」って聞いたら「未来はない」って言うから。「じゃあ手伝わない？」って。最初は全然ひまだったですけどね。みんな呆れて帰っていくっていうカンジで。

FR　プロペラってウエンディーズを入っていったところの？

松本　そうです。木造りの納屋みたいなイメージで作ったんですけど。デザインのもとになったのは、三人でディズニーランドに行って、ビッグサンダーマウンテンに乗って、こういうカンジって。まくら木を入手して、それをスライスして敷きつめたんです。その前はスタイリストみたいなことを少しやったんですよ。そのときに植木屋さんとか知ってたので、干草を集めて床に敷き詰めて。洋服屋っていってもアメカジが長いんですけどね。モード系とかは得意じゃない方なんですよ。スパランイことは分かるんですけどね。スパランイのとスパランクナイのがあるなっていうのは分かるんですけど。（笑）でも、スパランクナイなって思ってた方が、実はスパランカッタっていうこともあって。

FR　その後にこのお店を始めたんですか？

松本　ここを始める前に、実は子供ができたんですよ。それでカタギの仕事っていうことで。

FR　カタギじゃなかったんですか？

松本　そうですね、インチキスタイリストとか、インチキ洋服屋店員みたいなのですから。で、子供ができたんで、とりあえずミルク代オシメ代を稼がなきゃいけないので、2つとか3つの仕事を兼ねてやって。昼間は輸入雑貨の会社に入って、夜はマッサージ嬢の運転手したり。朝方にチラシ剥がしのアルバイトをやったりとか。

FR　チラシはがし？

松本　ええ、電柱のチラシを剥がすんですよ。

FR　公の仕事なんですか？

松本　そうですね、電力会社の下請けの仕事なんです。そんなことをやってきたんですけど。それでは、身体もそんなに続かないし、これじゃいかんなって。二人目のベビーができて、倍お金がかかるようになって。たまたま最後に本屋さんで仕事してたんですよ。そこで、アメリカのインターネット事情っていうのを知って。それまでコンピュータを触ったことなかったんですけど、いきなりインターネットを始めたんです。

FR　いつ頃ですか？

松本　4年前くらいですね。

FR　プロバイダーとかちゃんとありました？

松本　「べっこうあめ」がやっとでたっていう時でしたね。

FR　それでインターネットに繋いだときに、その接続用ソフトのアイコン（シンボルマークの様なもの）がかわいいんですよ。それで、Eメールのやり方を試す最初のときに、そのアイコンのソフトを作った人たちにプロポーズしちゃったんですよ。そのアイコンをキャラクターとして使わせてくれないかって。みんな大学の教授とか博士の人たちなんですけど。そうしたら、いいよっていう返事を三人からもらって。ヤフー（初めてインターネット上での検索サービスをした会社）がちょうど学生だったのが、企業が買収にきていて「今、企業と話しをしていて、勝手に使えなくなってしまった」って断わってきたんですけど。運よく三つ使っていいっていう許可を得たので、そこから動いたんですよ。親とか親戚を説得して、お金を集めて。それでTシャツを作って。それから、アメリカのインターネット業界にいる人たちの格好ってあり

常連ANDYにて→たんじょうケーキ食べるとこ

久しぶりの日基メイト→みちロン・なな・ふみ(成功)・ひめ・くみ

こんにちはあきです。私もついにハタチ族。イメチェン作戦。今年入ってからハードな毎日で今どきハゲができました。つっぱしるのが大好きな私だけに仕方ない。でも体は、ついてこなかった。今は少しお休みを頂いて友達と遊んだりレコード聞いたりゴロゴロしたりして落ちつきました。雪も降ってとまださむいので菌に殺られぬ様、気をつけましょう。

今ハマリモン
1、紅茶。乳製品につづく私の大好物。毎日飲む。フルーツティー、ミルクティーだな。
2、たんじょうび、ヴェからもらったゲームボーイ。電車で家でずっとピコピコ。しかし超へた。ゲームボーイズになろう…テトリスフラッシュⓒ任天堂。音量は、小が基本。マナーが大切よ。
3、リラクゼーションだけに、バスクリン、入浴剤がいい。とにかくおゆに入る。肩こり腰痛にいいらしい。一体いくつなんだ。今度は気功＋ヨガだな。ヨガ、かっこいい。

ThunderBall小情報 ついに、オムニバスCD出ます。通販の人は少し待ってね。3月19日新宿JAMにて、レコ発ライブ。PM 6:30〜です。オムニバスに入る、うちのバンド含め6バンド出ます。東京に近い人、ライブに来てCD買って下さい。限定2000枚なのでお早めに。1500円で、18曲入り。6バンド×3曲づつ。くわしくは、次号でかきますね。

今月の予定→2月は、ライブ3本です。16日下北シェルター、18日渋谷サイクロン、20日高円寺GEAR。超楽しみ。ライブがなきゃやってらんないからね。もう私は、バンド中心な生活。女とは言えないほど。あと、イベント行ったり、友達のバンドのライブ行ったり。明日は、SHOP LIFTINGの解散ライブ、WAYASを見に行く。WAYASとは、眼々まこと氏を通じて、CODEのライブで対バンしたのがきっかけで今じゃライブにいつも見に来てくれる。この間もいきなり当日2時間前にライブさそわれて参加。おひめ、SHOP LIFTING、ONE TRACK MIND、WAYASとライブした。イベントは、がくがさそってくれる。Basement、Rock WEST楽しかったよ。
P.S「たくさん通販きてうれしいです。ありがとぉ」とのことよ。by LOBLESS ラブレス ちとせ

原宿に来たら行く所。ANDY。アットホームで超くつろげて話しができて音楽が聞けて超おすすめのお店。Dainer、BAR、CAFEのできるとこ。いつも本当、お世話になってます。ミーティング、仕事の打ぎり、パーティと。ひまさえあれば、ANDY行く。モデルさん、絵かきのハッチ、インディーズデザイナー、バンドマンも多数来るんだよ。この前もブランキーのなかむらさんと写真とっちゃった。ミーハーミーハー。値段も安くて、マスターの作るごはん、おいしいよ。定食もあり軽食もあり、お酒もありカクテル多数、あとドリンク多数。パーティーの貸切りもできるのだ。そして、うちのバンドのデモテープも聞けるのだ。常連になることまちがいなし。みんなしんぶん見たら行ってネ。コーヒーTime㊋-㊏14:00〜18:00㊐㊗12:00〜18:00、Bar Time㊊-㊏18:00〜24:00㊐㊗18:00〜22:00
・コーヒー、紅茶300円、ビール600円、フローズン800円などでーす。
あと自分の作品も壁に2週間ほど無料でかざってくれるのだよ。うちのフライヤーもいつもトイレにはってもらってるます。「どこ行く？何する？」って時は、ぜひANDYへゴォーゴォー。
・りかさん、マスター、いつもありがとう♡
TEL→03-3405-1050よ

MAP
原宿
3F HERE
明治通り

今月も愛読者大感謝。前がみのそろい具合が気になる今日この頃。ではねえ、さらばへっぽこざむらいねー い。

バイト先㊙→アホ顔ばっかり ひめあき・ま?くみ

Basement楽屋にて→ひめ・KOBA・プりくみ

いほど売れるなら、いずれ日本でも売れるだろうって自分達で作るようになったんです。最初はしょぼい感じでしたけど、毎年10倍くらい増えてきてますからね。最初は100人くらいで、1000人になって。今は1万人くらいはいると思いますよ、レイバーパンツの人口。今年の夏で10万人くらいになればいいなって思ってるんですけどね。（笑）まあ、あまり増えると特権がなくなっちゃうんで、最初にやった人たちはまた変わちゃうんですすけど。

FR　早いですもんね。

FR　インターネットを始めて、いきなりアメリカに飛んじゃうっていうのは、思いきりいいですね。

松本　何かやらないとヤバイっていうカンジだったですね。アメリカの雑誌をたままた見たら、サンフランシスコとロサンジェルスとニューヨークとロンドンのインターネット最先端の人の動きみたいなのが出てて。こりゃマズイなっていう感じだったんですね。今すぐ動かなきゃ誰が動くんだって。で、自分は理工系でもないし、コンピュータも知らないから、ネットの中で活躍するのは無理だと思ったので、それに関わるもので、できるのは衣料関係なので、洋服かなって。あとはキャラクター系のものとか。だから、最初の打ち出しはインターネットファッションっていうことで打ち出して。「インターネットファッションってなに?」ってみんなに聞かれましたけど。

音楽をやってる人たちってファッションとデジタルが分かるんですよ。でも、コンピュータ関係の人たちっていうのはファッションがダメなんですよ。ファッションの人たちはコンピュータがダメなので。その3つをつなぐようにすれば、新しい感覚の人間、世界で一番カッコイイ人間ができるんじゃないかっていうことで、始めたんですけどね。お店を始めたら、やっぱり不思議なことにミュージシャンが多かったんですよ。そういう業界系から始まって、ファッション馬鹿みたいな人も来るんですけど、そういう人たちにはインターネットとかやった方がいいよって。とりあえず触った方がいいよって。実際、ファッションばっかりだったコが、コンピュータを始めて、早稲田大学に入って、コンピュータサークルに入って、半年くらいすると10年くらいやってるような顔をして来ますからね。（笑）コンピュータもできて、おしゃれでっていうんで学校でも人気者になって。それはある意味成功なのかなって思いますね。コンピュータだけのオタクのコも来るんですけど。お母さんがスーパーで買ってきた上下で来ますからね、ナップザック背負って。（笑）そういうコたちには、このTシャツにした方がいいよとか。そのケミカルジーンズはやめた方がいいからこれを着なさいとか。そうすると、だんだんおしゃれになちゃいますからね。最初はコンピュータ関係のロゴの入ったTシャツとかを着せて、徐々に音楽ものを着せたりして。そのうちだんだん本人も分かってきて、クラブとかも行くようになって。そうすると、理工系でクラブ行ってっていうと、大丈夫になっちゃうんですよね。（笑）一年くらいたつと、本人も音作ってますっていうふうになちゃいますから。（笑）早いコだともうCDを焼いて持ってきてますからね。今CDとかも置いてるんですけど、それはコミケとうちだけでしか売ってないとか。

（笑）コミケで買えない人がうちに買いにくるので、オタクの人たちもけっこう来ますよ。最初は場違いな感じでオズオズして入ってくるんですけど。「シャープネル」のCDの3（スリー）くださいとかって。

FR　さっき聴いたCDですね。

松本　電通大と芝浦工大の人が組んでやってる、コスプレ・ガバ・ユニットなんです。ライブハウスとかでやってますよ。

FR　CDに入ってた曲は彼らが演奏してるんですか?

松本　コンピュータを使って、作ったものですね。中学校からコンピュータしか触ってないんです。コンピュータとアニメなんですね。

FR　外国から見た日本のイメージですね。あのCD、著作権どうするんだろうって。

松本　そこらへんが問題なだけですね。チエコとかドイツのアンダーグラウンドのレーベルから出すっていう裏技もありますけどね。

FR　そうなんですか。

松本　そのへん、本気で著作権に挑戦しているアーティストもいますしね。著作権はばかばかしいって言って。ワイヤード誌に載ってたのは、マイケル・ジャクソンの曲をそのままCDにして、ジャケットもマイケル・ジャクソンの顔をそのまま使って、身体だけ女性の身体に変えてっていうのを出して。タイトルだけが違うっていう。それは裁判になりましたけどね、さすがに。

FR　（笑）。

松本　フルコピーも表現の一つだっていうのもすごく面白いんですけどね。芸術的にはすごく高いレベルにあるし。

FR　（笑）アメリカってそういうの好きですよね。写真家の写真をそのまま写真に撮って、作品ですとか。

松本　そうですね。それはある意味、選ばれただけでもその作品はすごいっていうことなんですけど。一番へそまがりの人間に

ますよね。それを揃えに行こうって、シリコングラフィックス社とかコンピュータ系のロゴのものを買いに行ったんです。そのときに、スポーツ雑誌とかファッション誌をいっぱい買って見てたときに、Z-TECHの靴（ジャンピングシューズ：かかとにバネがついたスニーカー）の広告が出てたんですよ。最初にそれを見たときは、一晩中笑ってたんですけど。朝になって、これを一度履いてみたいって思って。すぐに連絡をとったら、まだサンプルしかないっていう時点だったんですよ。オフィスにあるから来いっていうんだけど、ニューメキシコなので。飛行機なら2時間で来れるぞって言われたんですけど、アメリカにいる最後の日だったので、ちょっと行けないって言って。日本に帰ってサンプルを、270足あったんですけど、全部買い取って。で、世界で最初に売り出してみたんですよ。最初はみんなに呆れられましたけど。ガンダムのTシャツを着た女の子が来て、「これ、ガンダムじゃないの」って言い出して。それでガンダムシューズって呼び出したんです。そのうち、パフィーとかGLAYとかが履いてくれて、カッコイイ靴ってなったんですよね。

FR FRUiTSで、裏原宿系の男の子が、アフロヘアーでジャンピングシューズを履いてたんですけど。それが印象的でしたね。一ケ所あれでキメルといい感じですね。

松本 それで最初のがけっこう売れて。でも次に出してきたデザインが、なんかパッっとしなかったんですよ。地味で。もともとZ-TECH社って真面目な会社なんですよ。オリンピックでエチオピアのランニングチームのサポートをやってたりとか。真面目にアスリートのための靴として作ってるので。

FR そうなんですか。

松本 真面目なアスリート用なんですよ。だから、どんどん地味なデザインに変わるので、うちはもうちょっとポップな方がいいっていうことで。ザップっていうオモチャ屋さんの人に相談したりして、デザインを変えていったんですよ。

FR Z-TECH社に発注したんですか？

松本 そうです。システム自体はZ-TECH社の世界特許なので。そうしたら、それをアメリカの雑誌のワイヤードとか色々なところで取り上げてくれて。ワイヤード誌に紹介されたときは、イタリアとかスイスとかロンドンとかから注文の電話がかかってきましたよ。

FR 履いたことないんですけど、スニーカーとしてもかなりしっかりと作ってあるんですね。

松本 あ、履いたことないんですか。履いてみてくださいよ。

FR ーーーー
ホントだ。宇宙遊泳してるみたいですね。

松本 だから履くとみんな顔が輝くんですよ。子供になっちゃうっていうか。だから最初はテレビのディレクターとか、プログラマーの人とかそういう業界系の人たちが支持してくれて。

FR うちにもアメリカのインターネット関係の人が来たときに、「これ買ったんだ」ってよろこんでましたよ。「階段を降りるときの感覚はスゴイぞ」って言ってました。

松本 危なくはないんですよ。最初は危ないかなって思ったんですけど。違うんですよね。

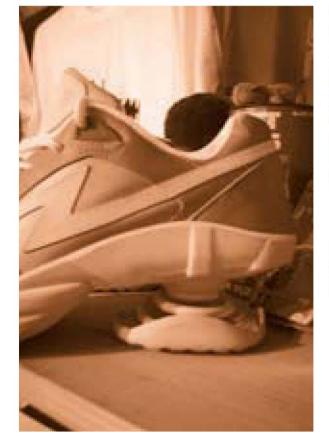
FR いいですね。身体に衝撃がこないし。お年寄りにいいかもしれない。

松本 ええ、お年寄りと、ウキウキするコたちには。ジョギングをすると、体重の3倍から5倍くらい膝と腰と踵にかかるらしいんですよ。それをなくすっていうことなんです。

今までのベーシックなニューバランスにチャンピオンにリーバイス501っていう、ちょっと前はすごくカッコよかった定番品に変わって、うちは、新定番のアメリカンカジュアルみたいなのを狙ってるんです。だから、スニーカーにジャンピングシューズを平気に履けるような人たちが増えて、リーバイスの代わりに、ちょっと新しい、考えてあるパンツをはいてくれるとうれしいですね。ヨーロッパと日本の人たちは、アメリカにすごく夢をもってる。アメリカの人たちはヨーロッパと日本に夢をもってますから。お互いに3つがうまく混ざった感じの定番のカッコっていうのが何種類かできてくるといいですね。クリームさんとか、ジュピターとか、タイムトロンとか見てると、それぞれに妙だけど、支持されてるから。うちも含めて新定番の3パターンか4パターンになればいいなって思うんですけど。みんな洋服の素人から始まってるところが面白いですね。着る側から始まってますからね。

FR 松本さんはいつから洋服を始めたんですか？

松本 自分で作るようになったのは、去年からですね。なぜかというと、レイバーパンツを、アメリカから入れてたんですけど、アメリカ現地で売れてるので、供給が間に合わなかったんですよ。入荷をすごく延ばされるので。アメリカで供給が間に合わな

うらしいんですけど。
FR そうなんですか?
松本 僕は、ブランド、デザイナーっていうのは、勝手に世界を作って、それに向かって勝手にモノを作っていく人だと思ってるので。僕は勝手にブレードランナーの「アンドロイドは電気羊の夢を見るか?」っていうのから電気羊っていうのをもらって。アンドロイドに感情が芽生えるっていうイメージの服を徐々に作っていこうって。今までは、サイバーっていうとマネキンに近づこうっていうカンジだったんですけど。そこにハートが入った暖かい、リアルなカンジを表現できればなって。ただ実力ないですから。(笑) たぶんブレードランナーを見て、こんなカンジが良いかなっていっちゃうんじゃないかなって。それでも冷たくなりがちな、それはそれで面白いんですけど、でもそれのちょっと先みたいなところに行ければ。モードの人たちって見た感じクールでシャープで冷たい感じがするんですよ。そこに暖かい感じが入れば。「なんだこの人たち裾がよごれてるよ」とか、「爪が汚れてるよ」ぐらいな感じの。(笑) マルタン・マルジェラが菌を植えつけた服を展示したりしてましたよね。そのへんはすばらしいですね。
FR 着れないですけどね。
松本 着れないですけど、バクテリアを植えて、培養して、服の色が変色していく、素材が変化していくって。今まで映画の世界とか、写真では、朽ちていくものを撮るってありましたけど、服でやった人は見たことないから。驚きましたね。でも伊勢丹でマルタン・マルジェラの洋服を見たんですけど、すごすぎて分かんないですね。
FR あれは服だけ見ても分かんないです、たぶん。コーディネートを見ないと。マルタンの服って、コーディネートを楽しむ服だと思ってるんですよ。日本ではそこまで理解されてないと思うんですけど。たとえばギャルソンの服とかだと、5年前のものって着れないじゃないですか。
松本 着れないですね。
FR 2年前のものも着れないじゃないですか。そういうコンセプトで作ってるじゃないですか。古いものはダサくって、どんどん新しいものって。マルタンのは、そうじゃなくって、今まで出たものは全部コーディネートできるんですよ。そのコーディネートを遊んでいく。でもそんなに楽でもないんですよ。コーディネートするの。考えないとちゃんとできないし。だからすごく普通のアイテムもあるんですよ。なんだ、普通じゃんっていうのも。でもそれがないとコーディネートできないじゃないですか。
松本 そうですね。
FR それで、効きのデザインのもあるし、普通のデザインのもあるしっていろんなのがあって。その中でコーディネートを楽しむ。だから、デザインされたものを一点だけつけたりとか、デザインのきついもので全身を固めたりすると、おかしくなっちゃうだろうし。だからコーディネートで見ていかないと、分かんないと思うんです。
松本 じゃあ、着る側の実力を試されちゃうんですね。

FR そうですよね。そこに差が出なきゃ面白くないですよね。同じブランドの服を着ても、着る人によってその人の持ち味が出るっていうか。だれが着ても全身着たら○○になりますよっていうんじゃ面白くないじゃないですか。
松本 そうですよね。昨日までボロボロのジャージ着てたのが、そのデザイナーのお店に行って全身揃えればおしゃれになっちゃう。そうか、マルジェラ全部買ってもへんてこになっちゃう可能性あるんですね。
FR そのシーズンだけで、全身固めちゃうとけっこうおかしくなっちゃうこともあるんじゃないですかね。昔のと合わせたりとか、古着と合わせたりとか。たぶん、それはマルタン自身が想定してるはずだと思うんです。
松本 あと、古着がまた流行りだしてるみたいですね。
FR 今もうすごいですね。あれだけみんな古着を着てたら、洋服のメーカーはどうするんだろうっていうくらい。
松本 変な古着を着てる人たちが増えてるから、いいんですけど。定番の古着はみんな避けてますね、不思議と。スエットにジーンズにっていうのは避けてて。古着屋さんが困って表に出した500円ものとか。(笑) そっち系がすごく多いですね。
FR たぶん、マルタンを合わせる感覚って古着だと思うんですよ。わざと毛玉ができやすい毛糸でニットを作ったり、洗ったらすぐに色が落ちるような染色をわざとす

選ばれた作品なんで。

ＦＲ　（笑）。

松本　だから本当ならそれを受け入れてOK出せばいいことなんですけどね。デュシャンとかあの辺の感覚とか、パンクスとかの感覚が引き継がれてるはずなんですけど。利益とかがあるので、真似しちゃだめって著作権法ができちゃったんですけどね。実際クリエイターが考えて作るとか言ってますけど、音楽なんか著作権法ができるずっと以前に膨大な量の音楽がありますから。作ったらたまたま誰かのと同じっていうのはあるはずなんですよね。クラシックの一番深いあたりで引っ掛かるはずなんですよ。だからそんなのはナシにした方がイイですね。産みの苦しみが分かるかって言う人がいるけど、そんなに苦しいんだったら、やめたらいいんじゃないのって。（笑）

ＦＲ　（笑）。

松本　だから、服もバンバンコピーとかあった方が良いですよ。

ＦＲ　（笑）。

松本　名前までコピーはさすがにね、あれですけど。すばらしいからやらせてもらいましたって言った方が、いさぎいいですよ。

ＦＲ　はあはあ。

松本　それを私が作ったオリジナルデザインですっていうのはちょっと違いますけど。僕はデザイナーとか駄目なんで、アレンジャーとかっていう感じなんですけどね。自分が見たものしか作れないので、組み合わせを変えたりとかしかできないんですけどね。オートクチュールを作ってるような人は別にして、洋服だって分かるものは、昔からあるものの素材を変えたり、色変えたり、形変えたり、あれとこれをくっつけたりっていう、たいしたことはないですよ。素材も紙から鉄まですべて出てますからね。最高に刺激のあるファッションっていうのは裸で、最高に質素なファッションは裸だっていう。そこの間の加減を見てるだけだから。

ＦＲ　真似したって言って作っちゃうのが良いと思うんですけどね。

松本　そうですね。

ＦＲ　でも、だいたい真似する人は自分のオリジナルですって言うんですよね。僕の好きなデザイナーのマルタンとかは、タグに書いちゃってますしね。「この服は60年代のジャケットを忠実に再現したものです」とかって。あと通信販売のジッパーが二本ついた作業服を真似て作りましたってそのチラシの切り抜きを発表したりしてるし。

松本　清（きよ）いですね。

ＦＲ　一つの芸術行為としてやってるのと、洋服に対しての思想が明確だからできるんだと思いますけど。あれいいから、売れそうだからコピーしちゃうっていうのだと、やましい気持ちがあるから、内緒にしようって思うんですよ。

ＦＲ　今、ビジネスの拠点はこのお店だけですか？

松本　あと、パルコのクアトロにお店があって。クアトロも一年やったので、売場面積を拡げるよりも、商品をちゃんと作ろうっていう方にやっと気がついて。ヴィヴィアンのロンドンのお店のワールズエンドは、ロンドンの一番外れの、床がでこぼこのボロボロの店ですよね。でも世界中から買いに来る。紙袋もなくて。それがそうなるっていうのは、商品が良いっていうことなので。だから、うちも商品の開発力を上げて、ちゃんとしたものを作れば、世界中から足を運んでくれる人も増えるんじゃないかなと。現在は、ジャンピングシューズを買いに香港とか台湾とか、オランダからとか、東京に来たついでにですけど、来てくれますけど。靴がそれだけお客さんを呼べるんですから、あとは上モノですね。パンツ、シャツ、ジャケット。Ｔシャツもボディから作るようにするので。ちょっとモードチックな感じになっちゃうかもしれないんですけど。分かりやすいおしゃれの方に、行っちゃうかもしれないですけど。僕は、取ってつけてのおしゃれがすごく苦手で、照れくさかったんですけど。ま、いいんじゃないのって。

ＦＲ　今、洋服って方向が見えにくくって、大変じゃないですか？

松本　方向的には、アインシュタインのジャンプ思考法といっしょで、最初に目標を決めちゃうんで。そこにどうやって行くかっていう方法だけなんですよね。よく、テーマがあってやってるのは本当のデザイナーじゃない、クリエイターじゃないって言

INTERVIEW
6%DOKIDOKI
増田セバスチャン

センセーショナル・ラブリィ・ショップ、6%DOKIDOKIの増田セバスチャンさんのインタビュー。

FR　お店を始めたのは何年前くらいですか。

増田　3年前です。最初はまだアンダー・カバーとかもあそこになくて、お店を開いた時にはあの辺はすごく安かったんですよ。坪1万円くらいだったんじゃないかな。

FR　本当に？

増田　それで、3階だからなおさら安くて、最初は家賃を40万とか言われたんだけど、払えませんって言って半分にしてもらって。（笑）そんなに払えませんって。そういう感じだったのでみんな若い子があの辺で店を開けるようになったんです。

FR　そうか、3年前くらいはけっこうそうだったかもしれない。

増田　もう全然人通ってなくて、美容院がいっぱいあって、美容院の顧客だけが歩いているみたいな。

FR　原宿がけっこう盛り下がっていたころですか？

増田　盛り下がっているっていうか、メイン通りからこっちはまず来なかったから。

FR　そうなんだ。

増田　別に、あそこでどうしても開きたいというのがあったわけじゃなくて、家賃が安くて済むなと思ったんで、売り上げ重視で考えなくて。それで、あそこに開いたんですよ。ほかの場所でもよかったといえばよかったんですけど。でも、やっぱり、原宿だったら自分のやっていることを理解してくれる人が来るかなと思ったのかな。そのころはクールがカッコイイという時代で、僕たちがやっていることっていうのは全然理解されなくて。お店を始める前に、僕たちはショーとかイベントを定期的にやっていたんです。それで来てもらった人にアンケートを取っても、「こんなのは通用しない」とか、ぼろくそだったですよ。

FR　ショーって何のショーですか。

増田　ファッションショーとか。今けっこういろいろそういうのが多いけど、ファッションショーとDJみたいなそういうイベントもよくやってたんです。変わったイベントだから、みんなに「絶対セバスチャンは店を開けば人が来るよ」みたいな感じで言われて。そうかなとか思って。それまでテレビ局の大道具やっていて。

FR　そうなんだ。

増田　それで、このままテレビ局でやってても自分のやりたいことじゃないし、それだったらその貯めたお金でそういうこともしてみたいなと思ったんですよ。それが24才の時なんです。

FR　今、27才ですか？

増田　28才です。最初の1年はやっぱり大変でしたけれど、バイトしながらとかやってましたから。お店開いて、閉めたあとに夜バイトに行って。それを繰り返して。お店を開いたら食べれるっていうのが頭にあるじゃないですか。そんなもんじゃなくて。手伝ってもらった人がけっこうアーティストが多くて、アーティスト仲間同士で集まっている店みたいな感じにしたかったんです。そういう人たちがだんだん、あそこは面白いよ」みたいな感じで広がっていって。そのうち、いろんな若い人の店が周りにできてきて、あの辺はけっこう盛り上がってきたんですよ。

FR　なるほどね。その時、RUI Tsに載っているような子たちが目をつけてっていう感じで？

増田　そうですね。本当にうちのセンスとかそういうのを分かってくれる人がいるのかすごい不安だったんですよ。外人とかは直で、ストレートで、嫌いな人はもうすぐ出ていっちゃうけれど、面白い人は、面白い」って言いに来るじゃないですか。そういうので、やっていけるなという何か不確かなものはあったんですけど。日本で受けるかというのがすごい不安でしたね、最初は。

FR　お店のテーマは何でしたっけ？

増田　センセーショナル・ラブリィです。何かもう可愛すぎて度を越えちゃって、何か違うものになっちゃったもの。

FR　そうか、そうか。

増田　を中心にやっています。あと、色が派手なのが好きなんですよ。ネイビーとかカーキとか、そういうわびさびの入った色

ることもあるし。だから、今の若いコがやってる古着のファッションって、精神的にはマルタンと同じかなって思ってるんですけど。逆に僕らとか大人は古着でコーディネートするのは大変じゃないですか。古着屋さん回って、探して、コーディネート考えてって。その部分をマルタンに頼っちゃって、マルタンのをチョイスするっていう。そういう感じだと解釈してるんですけどね。だから、若くてお金のないコは古着で実力を発揮するのが一番いいと思うんですよ。そうするとメーカーはたいへんですけど。
松本　そうですね。でもメーカーとしてもそれはそれで刺激になるから、いいんじゃないですかね。今までの決まった流れが壊れて、新しい動きが出て。体制ができちゃってて、システムが役所なみですからね。毎回海外の流行のファッション誌を見てじゃあこれでいくかって企画会議開いて流れ作業で役所みたいな感じでやってて。今年のテーマカラーはこれですって。でも、もう言うこと聴かないですからね。地方の方まで、ＦＲＵｉＴＳとかが全国誌なのでかなり影響力があって、根本から新しい人たちが出てくると思いますね。古着をどんどんやってみて、そうするといろんなことに気がつくから。僕も昔は古着をいっぱいあさったりしたんで。そうすると違いとか、昔は品質の良い悪いとかを見分ける練習になったので。今は逆に品質が良いから良いものだっていう世界から、もう次の世代に変わってきてますけどね。
ＦＲ　そうですよね。

松本　駄菓子みたいなのの方が、高級和菓子のお茶菓けよりも実は旨かったりする可能性があるんで。
ＦＲ　（笑）そうですよね。
松本　夜中に食べるカップラーメンが一番旨かったりとか。（笑）まあ、会席料理は会席料理であっていいんですけど。

松本　絵を描きたかったときがあったんですけど。アメリカでバスキアとかが出てきた頃ってあったじゃないですか。
ＦＲ　ありましたね、でもみんな死んじゃいましたね。エイズとかドラッグで。
松本　既成のものを壊していかなきゃいけないんで、やっぱりドラッグとかに頼って壊してますもんね。ピカソとかだと積み重ねて理論的にいってますけど、たいがいは壊すしかないんで、狂うか。
ＦＲ　ピカソは体力ありますもんね。脳もタフそうだし。
松本　頭大きいし、目大きいし。
ＦＲ　普通の人はクスリとかに頼んなきゃなんないんですかね。
松本　人間の頭の中って色分けしてありますから、絵具で。それを一度クレヨンにお湯をかけちゃうみたいにどろどろに溶かすと、離れた色が混ざって、中間のグラデー

ションとかがでて、濃い目、暗い目、明るめとかって選べるようになってくるから。色にたとえたけど、世の中のこと全部に対して言えるから。
だから、ＦＲＵｉＴＳのコたちを見てると、シラフでこんなって。
ＦＲ　（笑）。
松本　これはすごいなって。これは服でイッちゃってるんだなって、数でイッちゃってるはずだって。かなりすごい量を見てるはずなんですよ。見てるし、実際に着て体験してるんですよね。昔は服の貸し借りってしなかったですけど、友達どうしで平気で貸し借りしますでしょ。
ＦＲ　靴を借りたりしますもんね。
松本　ね、水虫だいじょうぶかみたいな感じですよね。サイズもかまわないでしょ。あのへんの感覚はすごいですよ。気に入ったけど、サイズがないっていうと、でかいのでも平気で履いてますよね。
ＦＲ　小さくなきゃいいって。
松本　それがデカ靴ファッションになったりしてね。すごい勉強になります。僕はわりとノーマルな方っていうか、そんなにノーマルじゃないですけど、僕らの世代だとアイビーから始まりますからね。もうじき

４５才ですから、本当はキツイんですよね。（笑）最初にＦＲＵｉＴＳを見たときは、あきれましたから。すごすぎて。
ＦＲ　（笑）。
松本　うちのお客さんたちが、美容師さんとかが、今度ＦＲＵｉＴＳっていう雑誌に載るって言って。そこからですね。見始めて。なんだこりゃって、初めてパンクを見たときみたいな感じでしたよ。

（連絡先）
住所　東京都渋谷区神宮前6-16-7　2F
ＴＥＬ　03-5469-0186

言われたんです。

FR　そうなんだ。

増田　最近はもう僕らでも危ないからやめとけって。バスに乗っていて、後ろからこうやってガンって首を絞められてお金取られるとか。そういうことが多発しているらしくて。この間アメリカで見たテレビだと、アメリカからメキシコへの留学生のバスが襲われて、それで全員レイプされて。そういうのがしょっちゅうらしいんですよ。特に僕はいっぱいお金持っていくから。

FR　そうか、そうですよね。

増田　韓国はすごい面白いですよ。食べ物もおいしいし、人もすごい優しいし。最近はすごい気に入っています。韓国では上町に泊まってるんですよ。10日で1万円くらいの所で、何か病院みたいな所なんかに。荷物が部屋いっぱいになっちゃうから、おじさん、おばさんに全部見張っといてもらって。

FR　送ったりするのも大変ですよね。

増田　韓国はけっこう日本語しゃべれる人が多いんで、運送屋さんの偉い人になると日本語しゃべれないと駄目みたいで。だから、けっこう楽ですよ。

FR　僕も、昔、韓国に1回だけ行ったことがあるんですけど。

増田　ソウル？

FR　ソウル。街並みがほとんど日本と一緒で、文字だけが全部ハングルなんで、何か変な感じがして。

増田　昔の日本みたいな感じですよね。

FR　そうそう。何かちょっと違う世界、日本のパラレルワールドに来ちゃったみたいな感じがして。不思議な感じでした。雑貨とかファンシーものとかが日本のフェイクみたいな感じで。ちょっと不思議な感じで。

増田　アメリカの仕入れだと、約2千軒問屋があるんですよ。

FR　そこの町に？

増田　そうそう。毎回2千軒全部を回らなきゃいけなくて、1軒に1個いいものがあればいいっていう感じで。下見でまず3日かかっちゃって。外国に行けていいねってよく言われるんですけど、もう行かせないでほしいっていう感じです。あんまり行きたくないんです。飛行機に乗るのも苦痛だし。

向こうで楽しいのはやっぱり祭りに行くことで。今はイスラエルがすごくいいらしいんですけど、最近まではLAがすごくいいイベントをやっている場所だったんです。車で2時間で乗りつけて。砂漠の中でぼうんとやってて。ああいうのがけっこう楽しいです。あれだけが楽しみで行っているようなもんです。

FR　そんな頻繁にあるんですか。

増田　そうです、満月の日とか絶対にあるし。

FR　LAとメキシコと韓国が主ですか。

増田　今までにロンドンとかも行ってますし、ニューヨークとかシカゴとか、アメリカはけっこういろいろ回って。でも、今はほとんどLAばっかりです。LAで買うのも結局メイド・イン・チャイナのアメリカ向けの商品を買ってくるようなものなんですよ。中国に行けばいいんじゃないかとか言われるんですけど、中国に行くと今度は中国物しか売ってなくて。それに、広いから工場を探すのも大変だし。

FR　LAでは危険なこととかありました？

増田　いっぱいありすぎて。その問屋街の中にはミッドナイトチャーチっていう、ホームレスに食事とかを出す所があって。そこのそばなんで、すごい所がいっぱいあるんですよ。車止めるときとかも、アメリカって、車を止めちゃ駄目なところは赤に塗ってあって、黄色の所は一時停止OKで、白の所はOKなんですよ。その白の所をホームレスがキープしてるんですよ。そこに止めたらチップをあげなきゃいけなくて。そういうのが嫌で、いない所に止めようとすると遠くから走ってくるんですよ。

FR　俺が車を守ってやってるって。

増田　こうやって見てるからって。でも、仕入れっていうのは、本当に想像以上にキツイと思うんですよ。2千軒の中で面白いのだけをピックアップしてくるのはキツイです。

FR　それも慣れなきゃなんないですからね。

増田　そのときはオーダーだけしておいて、後で車で回ってピックアップするんです。うちで売っているものはアメリカに行けば買えると思ってるみたいなんですけど、けっこうないと思うんですよ。ニューヨーク

とかあんまり分かんなくて、ピンクならピンクでも、きついピンクとかそういうのが好きだったんで。そういうのだけ集めようとか。そういうのを売っているお店は他になかったし。それと、よく踊りに行っていて、自分が踊りに行ったときにほしい雑貨がなかったんですよ。売ってるお店が。じゃあ自分で置こうって思ったんです。店内でかけてる音楽も、今はけっこうラテンダンス系の曲をかけてる店とか多いですけど、最初のころにバリバリのテクノとかかけていてすごい入りづらかったんですよね。今はどこでもかけているから、イージー系の曲に変えちゃったんですけど。ムード系の音楽に。それはまだどこもないなと思って。イトーヨーカ堂ぐらいですよ。（笑）

例えば今木さんがＦＲＵＩＴＳを出しているのもやっぱり言いたいことがあって出してるわけじゃないですか。僕はそれがたまたまお店だったというだけで、例えば音楽だったらレコードでもいいし。ショップっていうのは表現媒体だったんです。それと、けっこう面倒臭がりなんで、例えばギャラリー借りてその１週間だけやるということもやんないんですよ。年に１回とかしか。それだったら一年中やっているように自分で個展しちゃって、ショップっていう形態を取ったほうがいいかなと思ったんですね。

でも、やっぱり経営は大変ですね。思っていた以上に。売れないと経営じゃないですか。独り善がりじゃもちろん駄目だし、その辺のバランスがやっぱりすごく大変ですよね。

ＦＲ　単価が安いから大変ですよね。

増田　また、売れてほしいものとか、自分が面白いと思うものほど売れないんですよ。

ＦＲ　普段どこかに買いつけに行ってるんですか？

増田　そうですね、今揃っているのは韓国なんで韓国が多いですけど。でも、始めて２年ぐらいはアメリカとメキシコが主でした。

ＦＲ　メキシコって直接飛んでるんですか？

増田　直接行くと１８時間かかるので、それはきついんで、まずＬＡに飛んで。ＬＡでいろいろ仕事をしてから行って、また帰ってきてＬＡで泊まって、それで帰るんです。

ＦＲ　メキシコってスペイン語ですか。

増田　そうですね。ほとんどスペイン語です。

ＦＲ　できるんですか？　スペイン語。

増田　スペイン語はちょびっと。英語と韓国語はまあ日常生活程度は。

ＦＲ　すごい。

増田　一応、売り買いしなきゃいけないんで。

ＦＲ　それで勉強したんですか。

増田　勉強もそんなしてないんですけど、行っているうちに必要な単語は覚えちゃって。

ＦＲ　韓国語も？

増田　韓国語も同じノリで。英語で使っていた会話をとりあえず使うなと思って。それだけ頭に入れて行ったんですよ。それから、ちょっとコミュニケーション取れるようになるとどんどん教えてくれたりするじゃないですか。それで覚えていって。

ＦＲ　一番最初はいきなりアメリカに買いつけに行ったんですか。

増田　そうですね。その時は全然英語しゃべれなかったんですけど。何か買いつけイコールアメリカっていうのが何となくあったんです。じゃあアメリカ行くかみたいな感じで。古着屋さんの友達がいて、そこがロサンジェルスから買いつけてるからっていうんで、ああ、そうなんだ、じゃあロサンジェルスって、行ったんですよ。

ＦＲ　問屋さんとかは？

増田　知らなくて。現地に着いて、最初のころはドタバタもいいところだったんですけど、レンタカーでいろいろぐるぐる回ってたら問屋街みたいな所があって。本当は日本人は絶対行っちゃいけない場所だったんですけれど。

ＦＲ　危ない？

増田　今聞くとすごい怖いんですけど。

ＦＲ　（笑）そうなんだ。

増田　そこで降りて、あっ、問屋街だって。そこでいろいろピックアップして買って、飛行機に持ち込んで、それをただ並べていたっていう感じで。本当、アマチュアもいいところだったんですけど。

ＦＲ　その時は特に危ないことはなかったんですか？

増田　一緒について来てもらった友達が、パスポートを盗まれたり、そういうので大変だったっていう思い出はあるんですけど、危険なことはなかったです。そしてその問屋街が常時買いつける場所になってしまって。今はあの辺で一番有名な日本人になってます。

ＦＲ　平気で来るやつがいるって。

増田　街を歩いていても、黒人とかメキシカンばっかりなんだけど「アミーゴ」とかって。「今日は買わないの？　お茶していけよ」とか。そういうのばっかりです。今は楽しいです。そこでスペイン語もちょっと覚えて。それでメキシコの方も行くようになったんです。でも、メキシコはさらに治安が悪くなってきたので行けなくなったんですよ。メキシコっていうか、メキシコより下は今あまり安全じゃないんで。

ＦＲ　メキシコシティも行けないんですか。

増田　飛び込みだったらまだあれですけど、メキシコシティもおっかないらしいです。それはアメリカに住んでいるメキシコ人に

れば片づくわけでしょ。スポンサーを探すことだってできるだろうし。それで再開をOKするのかどうかですけど。

増田　それだけだと、ちょっと弱いと思いますよ。

でもすごいですね、北海道から署名とか来ちゃうなんて。

FR　地方から原宿のホコ天に来たいって楽しみにしていたコが、かなりの数いるみたいで。なくなっちゃったんなら東京に行くのやめようかっていうコもけっこういるから。

増田　うちのお客さまノートを見ても、北海道から沖縄まですごいですもんね。どの店も、今年は去年の70パーセントくらいの売上にになっちゃってますね。ホコ天なくなって更に減ってるんじゃないですかね。

FR　そうなんだ。

増田　それから原宿に来る人たちに言いたいことは、同じ日本人でいがみ合っている場合じゃないような気がするんですよ。何々派とか、何々系とか。そんなんじゃアメリカとかヨーロッパとかに負けちゃいますよね。何か日本で、独自のジャパニーズの文化でこうなんだぞっていうのを確立しなきゃ、本当にヤバいですよ。と思うんですよ。

FR　この間、朝日新聞におすぎがFRUiTSとケラとサンプリングを、一緒にされたくないんだけど、何か仮装みたいな格好を載せて、安く作れるから作っている雑誌みたいなことを書いてたんですよ。ファッション評論家として書いていたみたいなんだけど。原宿にいるコたちのファッションって、日本で生まれたオリジナルのファッションなんですよね。未だかつて日本オリジナルの流行ってなかった。みんな向こうの流行を取り入れただけのものだったじゃないですか。ヨーロッパかアメリカで流行ったものが日本でも流行ってただけ。だから原宿のコたちのファッションって世界に誇れるものなのに、それをそんな評価の仕方しかできない。評価が確立された海外の有名デザイナーを誉めてるだけでファッション評論家って言ってる。

増田　大体、日本はそういうところがまずいと思うんですよ。例えば某有名カリスマ系ブランドの従業員はうちの店に入っちゃいけないとかって言われてるみたいなんですよ。(笑)

FR　(笑)そうなんだ。

増田　別にいいじゃないですか。イメージが崩れるからとか。そういうのじゃないと思うんですよ。

FR　でも、店に行くだけでイメージを崩しちゃうだけの強いテーマがあるということで、いいかもしれないですけど、逆に。(笑)

増田　うちの店は、日本人による日本人のオリジナリティーを出したいというのがあって、そういうものでできているんで。多分外国に行ってもないから、外人とかが評価してくれると思うんですよ。

FR　6%DOKIDOKIさんってある種日本なんですよね。

増田　めちゃめちゃ日本ですよ。

FR　ロンドンのクラブとか好きなやつらが抱いている日本のイメージって、ああいう要素がちょっとありますよね。

増田　日本人の文化を集めて、例えばアメリカにガンっと行っちゃうとか。そういうことをもっと雑誌も含めて、メディアも含めてアピールしていく方向にもっていけたらと思うんですよね。うちは小さい一歩ですけど。

だから、うちが好きだと思うものを取り込んで、今はアーティストばっかりですけど、何かできたらなみたいなことをちょっとずつやってるんですけど。ぬいぐるみ作家のミヤタケイコさんとか、イラストレーターの水野純子ちゃんとか。ちょっとずつ、日本人による日本人の文化を作っていきたいってやってるんですけどね。例えばロンドンのものをそのまま輸入して、そのまま飾りつけて売っているのが日本の主流だと思ったので、それだけはいやだと思ったんです。買いつけてくるのはアメリカとかいろんな所だけども、日本人から出てきたものを作りたいと思ったんです。もっと誇りたいというか、もっと誇っていきたいんですよ。

FR　それと、渋谷区は最近問題が多いんですよね。

増田　問題って?

FR　代官山に清掃工場造ってるでしょう。

増田　原宿の同潤会アパートもつぶしちゃいますよね。

FR　そうそう、代官山の同潤会アパートはつぶしちゃって高層ビル建ててるし。あと、渋谷の公園通りの市営の地下パーキングが利用が少ないっていうんで、公園通りの歩道を半分削って駐車場の入り口を作るらしいんですよ。住民が大反対しているみたいですし。原宿の遊歩道もどんどん車が通れるようにしていってるけど。

増田　文化屋雑貨の前も車が通れるようになっちゃいましたよね。

FR　あれ何なんですかね。緊急車両用?

増田　味がだんだんなくなってきますよね。

FR　前は遊歩道にブランコとかあったじゃないですか。砂場とかあったのになくし

の人がうちの店に来て、卸してくれって言ったりしますから。でもアメリカから仕入れたんだよって。

FR　みんな飛び込みで行って、買えるんですか?

増田　本当は駄目だと思うんですけど。アメリカだとライセンスみたいなのがあって、そういうカードを見せてくれとか言われるんです。日本から来てるって言うと、じゃあ分かったとかって。そうじゃないと小売価格になっちゃうんですけど、向こうも商売だから。

それと、やっているのは中国から移民してきた中国人とか、韓国人もけっこう多いんですよ。だから同じアジア人だからっていうのもあって。それで韓国語を話すとすごく安くなるんです。喜んでくれて。どこで覚えたんだって。オマケいっぱいもらって。（笑）

結局そういうのばっかりやってるから、物欲が仕入れで満たされちゃって、日本では何も買わないんですよ。自分のものは何にも買ってないんですけれど、何か満たされちゃって。日本でもドン・キ・ホーテとか、ああいう大手のスーパーみたいな所じゃないと買えないですね、買った気にならなくて。

FR　ハチの入った指輪って、メキシコでしたよね。面白かったですよねあれ。あれを作っていたおじさんって、今度何を入れるって言ってたんでしたっけ?

増田　ねこの手はどうだろうって言ってましたね。（笑）

FR　やりそうな人なんでしょ。（笑）

増田　真顔なんですよ。

FR　ハチなら分かるけど。

増田　今ちょっと原宿勢いがないから、どうにかしたいですね。

FR　まず、ホコ天再開させる?

増田　そうですね。世界的にも、原宿ってけっこういい場所だと思うんですよ。

FR　そうそう、僕もそう思うんだけど、住んでいる人は分からないみたい。

増田　でも、僕も住民ですから。とんかつ屋さんが会長なんですけれど、とんかつ屋さんは江戸時代から住んでいるから。でも、発展してもらわなきゃ困るって言ってるんですよ。

FR　江戸時代のこの辺ってどんなんだったんだろう。（笑）本当かな、それ?（笑）

増田　それで、反対している住民というのは、戦後この辺が安い時に来た住民だから、出ていけば済むかもしれないけど、ずっと何代もここに住まなければいけない者としては、やっぱり盛り上がってもらわないと困るって言ってますから。

FR　この間も北海道から署名が送られてきたんですよ、読者から。百何十人の署名で。日本中でみんな楽しみにしている場所なんですよね。この地域だけのことじゃない。しかも、原因の中心がゴミなんでしょう、そんなもんで中止にしちゃうのはね。

増田　ゴミと騒音って言ってたけど。やっぱりゴミの方が。

FR　騒音って何かあるのかな。ないですよね。

増田　明治神宮横のホコ天中止のときはバンドだったけど、今はないですよね。あともう一つの理由はお金なんですよ。

FR　お金?

増田　警備するのに、警察を配員しなきゃいけないじゃないですか。その費用がちょっと高い。

FR　どのくらいかかるんだろう。そのくらい持てよね。

増田　それくらい持てって感じでしょう。

FR　ヤバイね、相当。

増田　今僕が入ってる所が九重商店会なんですけど、他に原宿シャンゼリゼ会とかいっぱいあって、そこが全部集まれば全然平気なことなんだと思うんですけど。10個くらいある商店会で7対3で、3しかホコ天賛成派がいないんですよね。だから、けっこう大変な問題なんですよね。

FR　そうなんだ。何でなくしていいって言ってるんだろう。

増田　どうなんでしょうね。面倒臭いからみたいなのもあるんじゃないですか。みんな50才、60才なんで、40才くらいで若いって言われるんですよ。だから、もめごとが面倒臭いんじゃないですか。そういうノリでずっと続いている感じがあるんですよ。だから、みんなが反対だったらじゃあ反対にしておこうかとか。

FR　人が集まる恩恵を必ず受けているはずなんだけど。あと、ゴミってほとんど空き缶じゃないですか。空き缶かコンビニかハンバーガー屋さんのゴミしかないでしょ。空き缶も、その地域の人が営利で自販機を置いているわけですよね。それだけ売れて儲かっているなら清掃代出せばいいし。

増田　何か簡単な疑問ですよね。

FR　遊歩道がゴミで困るなら、まず自販機を置かないようにしろよって。例えばローソンだけにしか缶ジュースを置かないとかってすればローソンが全部片付ければいいし。あれだけ缶ジュースの販売機置いておいて汚れるって言うのはすごく変なことだよね、地域としては。

増田　その地域に人を呼ばないと、利潤も上がらないのに。

FR　うちができるとしたら、ゴミ問題を解決することかな。出すなと言うんじゃなくて、片づければいいわけだし。お金があ

ちゃって。
増田　何なんですかね。
ＦＲ　まあ、日本ってそんなんだから、考えるだけで嫌になっちゃうんですけどね。
増田　何か、いい街並みとか残せばいいのにと思いますよね。
ＦＲ　あと、遊歩道の壁画をピンクに塗っちゃって。前の落書きってけっこういい落書きがされてたんですよ。
増田　そうなんですか。
ＦＲ　見てないですか？　いい絵が何点かあって、けっこういい作品になってたんですけどね、壁画が。文字だけ書いたりとかっていうのじゃなくって、作品になってたのに。ピンクに塗っちゃって。官僚の美意識だと思うんですけどね。
増田　その中でだんだんいろいろ無味無臭にされていって。
ＦＲ　あのピンクはすごく嫌な色なんですよ。その後の落書きはいわゆる汚い言葉や文字の落書で。完璧にクリーンにしようとすると、かえって逆効果になるのに。遊歩道でものを売ってるコたちの取締りも同じで。自分で作ったアクセサリーや絵や作品や洋服を売るコは全くいなくなって、裏原宿ブランドをプレミアつけて売ってる男の子達しかいなくなっちゃった。でもまだ悪いやつらじゃないからいいけど、悪くなる可能性がある。あそこにあったものは、頭の堅い大人から見たらバイ菌にしか見えないかもしれないけど、みんな善玉菌なんですよ。悪玉菌に汚染されないために重要な存在だったんですよ。取りかえせないことをいっぱいやってるんですよね。
ＦＲ　６％ＤＯＫＩＤＯＫＩというのは何か意味があるんですか？
増田　いや、別になくて、普通のものよりもちょっとドキドキしたものを作っていこうという名前だったんですけど。本当はロゴから考えて丸に６があってパーセントも丸だからカワイイなって。
ＦＲ　なるほどね。
増田　そういときも名前よりもロゴから考えちゃうんで。
ＦＲ　じゃあ６パーセントくらいの人に理解してもらえれば。多いですけどね、６パーセントって。
増田　多いですけどね。
ＦＲ　０・６パーセントくらいでもいいかもしれない。
増田　０・６パーセントでも６００万人くらいですね。けっこう多いですね。
増田　今年はイベントとかショーとかをもう１回やろうかなと思っているんです。僕はよく行くんですけど、本当に面白いイベントって今ないじゃないですか。何人入って、いくら儲かるみたいなのがすごく多いですよね。それでけっこう３千円とか４千円とか取るじゃないですか。うちは３千円分楽しめるものをやりたいなと。それをちょっとずつ続けていきたいなって。それをそのままニューヨークとかロンドンに持って行きたいんですよ。
ＦＲ　面白そうですね。

（連絡先）
住所　東京都渋谷区神宮前4-32-4　３Ｆ
ＴＥＬ　03-3479-6166

GOLD FINGER
20才以上の女性限定イベント

ガールズオンリーでおなじみのクラブイベントGOLDFINGERがひな祭の日に、イエローでイベントを行う。ネイルサロンやアロママッサージ、メイクアップのコーナーなどがあるよ。クラブイベントなので、20才以上で、女性のみ入場可能です。
日時／３月３日
場所／西麻布イエロー（西麻布1-10-11）
チケット料金／3,000円

「不協和音」

「不協和音」が中野のブロードウェイでショーを行う。彼等の卒業記念的ショー。
日時／３月14日　20：30（ショースタート）
場所／中野・ブロードウェイ（最寄り駅：JR中野駅）

「響」

「眠々」が参加するイベント「響」。写真・オブジェの展示、黒沢タケシプロデュースのライブなどがある。
日時／３月12日　18：00（開場）　19：30～（ショー、ライブ）
場所／有栖川スタジオ（東京都港区南麻布5-8-21　最寄り駅：広尾駅）
問い合せ、チケット／090-1268-6584
チケット料金／3,000円

前号でCDを紹介したLoBlessの読み方が間違っていました。
正しくは**ラブレス**です。ゴメンネ。

ジャケット：下北沢のお店
シューズ：クアトロ1F
バッグ：over land
ファッションのポイント：オトナの女性
美容室：アバリエ
今ハマッている事：ねこ
好きな音楽：コア、ソウル
きょろちゃん（23才）、自由業

上着：MONCLER
スカート：下北沢古着屋さんで
シューズ：BEEMSで
バック：BEEMSで
マフラー：90円
ファッションのポイント：リーゼントな髪型
美容室：aparie
今ハマッている事：病気
好きな音楽：ガレージパンク、ハードコア
サナ

ジャケット：KaeL
ジャージ：古着
オーバーオール
シューズ：コンバース(自分で目を縫った)
ファッションのポイント：オーバーオールをかわいく着る
ハマっている事：読書、ギター
好きな音楽：なんでも聞いてみる

上着：古着
スカート：古着
シューズ：コンバース
みほコ（19才）、フリーター

上着：シカゴ（P'パルコ）
シャツ：ヒス（ごのい）
パンツ：オゾン
シューズ：マーチン
バッグ：文化バッグ
ファッションのポイント：長田氏からもらったリストバンド
美容室：シマ銀座マキちゃん
今ハマッている事：下北のハイライン
好きな音楽：テクノ
かよ（19才）、専門学校生

上着：お婆ちゃんのノルウェーみやげ
カーディガン：ヴィヴィアン ウエストウッド
シャツ：みえてないけどミホマツダ
スカート（外）：あゆみっちから頂きもの♡
シューズ：小6か中1くらいの時の
バッグ：アメよこで
帽子：じもとで
ファッションのポイント：お婆ちゃんありが10♡
美容室：GIRL LOVES BOY
今ハマッている事：あみもの、あゆみっち
好きな音楽：いろいろ
四六（17才）、学生

DEVIL OF LONDON

YASUHARU ISHIKAWA

CROSS FEMME（岡山店）
086-231-5007

CROSS FEMME（福山キャスパB1F）
0849-28-2699

UUHMS（宇都宮ユニオン店）
028-637-9694

VITAMIN CAPSULES（山形店）
023-633-6080

IMPACT（豊橋店）
0532-54-8910

CROSS COMPANY INC.TEL:03−5770−5556

右（女性）　ハイネックシャツ¥16,000　ロングSK¥17,000
左（男性）＿シャツコート¥21,000　ワイドパンツ¥16,000

コート：T.KUNITOMO(内緒)
セーター：T.KUNITOMO(内緒)
シューズ：st.KOJIKUGA（おおっぴら
バッグ：LAWSONブクロ
ファッションのポイント：リーマンぶってるコート。
美容室：自前
今ハマッている事：伊豆
好きな音楽：なんでもイケそう。
YUKO（20才）、販売

コート：古着屋さんで¥7,000
パーカー：サンタモニカ
パンツ：丸井のレディースパンツ屋
シューズ：コンバース
メガネ：ラフォーレの地下
ファッションのポイント：自己流ロンドン
美容室：自分でバリカンで。
今ハマッている事：友達とでんわ、おどること
好きな音楽：ハウス、ミーシャ
岩切 剛（19才）、コージクガ販売員

上着：サージ
セーター：トライベンティ
シャツ：フェトゥース
パンツ：サイバードッグ
バッグ：サイバードッグ
ファッションのポイント：あったかく
美容室：氏田さんとアレスの木戸口さん
今ハマッている事：こたつ
好きな音楽：テクノ
Hiro（24才）、美容師（アレス）

上着：ふるぎ屋
シャツ：ふるぎ屋
スカート：手作り
シューズ：ちかくのみせ（家の…）
バッグ：アメリカでかった
ファッションのポイント：バービーなかんじ
美容室：じもとの…
今ハマッている事：バービーのものあつめ
好きな音楽：ラルク!!
ユッキー（19才）、フリーター

シャツ：古着
パンツ：古着
シューズ：ストライド
ファッションのポイント：とくになし
美容室：自分
今ハマッている事：電車でCD
大介（25才）、美容師

上着：古着
シューズ：？
ファッションのポイント：足
美容室：自分
今ハマッている事：？
あゆみ（22才）、美容師
――札幌から

シャツ：プーマのジャージ
パンツ：クリストファー ネメス
シューズ：ベリー ボタン
帽子：ビートルカルシウム（ZO'A）
ファッションのポイント：カブトムシのボーン
美容室：ゆかに
今ハマッている事：とくになし
好きな音楽：メロコア
ヲミヲミ（19才）、専門学校生

シャツ：NIKE
スカート：I.S.
シューズ：コンバース オールスター
バッグ：R. NEWBOLD
帽子：地元で買った（新潟のレイビス）
美容室：地元のBLANC
今ハマッている事：オトモダチの1人つっこみ
好きな音楽：散歩したくなるような
ゆか（19才）、専門学校生

上着：アンバー
セーター：ランプ
シャツ：ヒステリック グラマー
スカート：シンイチロウ アラカワ
シューズ：バッファロー
バッグ：もらいもの
メガネ：もらいもの
ファッションのポイント：レースクウィーンぽく
美容室：ソラリス
好きな音楽：ロック
ナレ（19才）、ブー太郎

セーター：ベティーズブルー
スカート：ベティーズブルー
シューズ：近所のくつ屋
バッグ：宇宙百貨
ファッションのポイント：春です。
美容室：自分で
今ハマッている事：ピンクパンサー
好きな音楽：JAM♡
さっちゃん（18才）、高校生

---台湾から

上着：原宿の古着や
パンツ：シカゴ
シューズ：ロベルトデ カルロ
美容室：友だち
今ハマッている事：作文
好きな音楽：スピード
(21才)、大学生

コート：うちゅうひゃっか
セーター：BEAMS BOY
スカート：古着
シューズ：コンバース
バッグ：ピンクパンサー
ファッションのポイント：なつなつに合わせて♡
美容室：じぶん
今ハマッている事：ゆずとマドモアゼルゆみこ
好きな音楽：スターリン
はづはづ（16才）、高校1年生

上着：スーパーオールド
スカート：スーパーオールド
バッグ：ピンクパンサー（せんぱいにもらった♡）
ファッションのポイント：いつもピンクパンサー
今ハマッている事：ギターのれんしゅう
好きな音楽：スーパーカー
なつなつ（16才）、高校生

上着：THE NINE HEADS
スカート（上）：タイのおみやげ
スカート（下）：ジェーン マーブル
シューズ：てきとうにはいてきた
バッグ：手づくりケータイ入れ
帽子：BA-TSU
ファッションのポイント：汚いヒッピー
美容室：自分で
今ハマッている事：「笑う犬の生活」のミル姉さん
好きな音楽：スカコア☆
あつを（20才）、ヒミツ

上着：ヒステリックグラマー
スカート：おねえちゃんの
シューズ：NO NAME
バッグ：パパのおみやげ
ファッションのポイント：なに、とスきてるーってかんじ
美容室：烏山のセルボーン
今ハマッている事：LUCIO☆FMAの貞くん
好きな音楽：スカコア
くみこ（20才）、大学生

SPECIAL.2　MARTIN MARGIELA

発売中　2,400円

(SPECIAL.1の増刷も同時発売中。)

ストリート編集室

上着：古着
セーター：無名物
パンツ：iiMK
シューズ：ノーネーム
バッグ：プラダ
メガネ：露店で購入
ファッションのポイント：フィンガーファイブの一員
今ハマッている事：空想ごっこ
好きな音楽：ボサノヴァ
たぬきの恋人（20才）、専門学校生

上着：マジェスティックレゴン
セーター：アルゴンキン
スパッツはママ作
シューズ：コンバース
美容室：MINX
今ハマッている事：たのしく生きるコト
コート：スーパーラヴァーズの。
スカート：OZOCの。

セーター：古着
パンツ：古着
シューズ：あしながおじさん
バック：クラッチ
ファッションのポイント：古着っこ
美容室：アクア
育水（18才）、専門学校生

上着：古着
セーター：古着
パンツ：もらいもの
シューズ：もらいもの
ファッションのポイント：きたなく
今ハマッている事：服作り
好きな音楽：テクノ
（20才）、専門学校生

スカート：OLIVE des OLIVE
シューズ：アンテナ（ギャル風味）
バッグ：ラフォーレ地下B1のギャル店
ファッションのポイント：ギャル
美容室：ウィッグ、C C COUNTRY
今ハマッている事：ギャルor メイク
好きな音楽：なんでもOK
ユリユリ（16才）、高校生

コート：ピースナウ：ピロピロのお店で
パンツ：ロクロク
バッグ：ベティーズブルー
ファッションのポイント：ゴージャス♡♡♡
美容室：もちろんPanic!!
今ハマッている事：うた
好きな音楽：ドリカムさいこー
なえ、高校生

スカート：ミルク
シューズ：コージクガ
バッグ：ミルク
好きな音楽：JUDY AND MARY
17才、高校生

上着：原宿で買った
セーター：PUTOMAYO
スカート：地元のお店
シューズ：ラフォーレバーゲン￥2000
バッグ：地元
帽子：ラフォーレB1.5F
ファッションのポイント：ロリータパンクになりきれない所
美容室：MELANGE
今ハマッている事：絵
好きな音楽：オルタナ系が好き
IDA（21才）、グラフィックデザイナー

上着：バナマボーイ
セーター：お母さんの
シャツ：300円ゴンちゃんの
スカート：小学校の時の
シューズ：竹下で
アクセサリー：パワーキャロッツ、ハンティング用キャメラ
ファッションのポイント：さむくないように
美容室：GIRL LOVES BOY
今ハマッている事：酸性カラー
好きな音楽：コア
あい（20才）、ガールインターン

コート：古着
セーター：サマンサモスモス
シャツ：バツ
パンツ：ピースナウ
シューズ：ジェリービーンズ
バッグ：ハンティング用カメラ
ファッションのポイント：女らしくね。
美容室：ガールラブズボーイ
今ハマッている事：ナイトメア ビフォア クリスマス
好きな音楽：さわやかなの
りかちん（23才）、美容師

ジャケット：古着（TEX）
スカート：はるばる屋
シューズ：エアベイクド（かりもの）
バッグ：チチカカ
今ハマッている事：ナウシカ
遠山 涼子（20才）、学生

上着：わすれた
ワンピ：古着
スカート：古着
シューズ：コキュ
バッグ：ヴィヴィアン
アクセサリー：ヴィヴィアン
ファッションのポイント：あったものを着た
美容室：ストリート
好きな音楽：鼻歌
イクミ（20才）、美容師（ストリート）

小林亜紀ちゃんとThunderBallのメンバー

コート：母のおさがり
シャツ：Pretty
スカート：母のおさがり
ファッションのポイント：コテコテ
美容室：自分で
好きな音楽：B-T、ミッシェル
ノリコ（22才）、大学生

STREET
No.116
3
1999
650円
STREET
ロンドン ストリートファッション
パリコレ会場
ニューヨーク ストリートファッション
東京ナイト
STREET was（1987・ゴルチエ・コレクション会場）

発売中（毎月12日発売）

次号予告
3月23日
発売予定
内容未定

Fruitsは月刊です。
毎月23日に
発売です。
（一部、地域によって違います）

全国ローカル情報
募集
（ここに来て、とか
おしゃれスポットはここ、とか
オモシロイお店がある、とか
取材のとき食べるおいしいお店は
ここ、みたいな）

アンケートは、
自己申告をそのまま
掲載していますので、
まちがっていることも
あります。

こんなページを
作ってほしい
こんな企画を
してほしい
募集

こんなものが流行ってるとか、
こんなことに凝ってるとか、
今これに注目とか、
ニュース募集
（会社の方、デザイナー等の方々へ：
プレスリリース等いただいておりますが、
編集企画が合った場合にご連絡させて
いただきます。ご了承ください。）

バックナンバー
No.1〜19は、
売り切れ
となりました。
ごめんなさい。

載っている服は、
今販売していないこと
の方が多いと思います
ので、メーカーに
問い合わせるときは、
ご注意ください。

編集部へのお便り等は、
住所をまちがえないよう
気をつけてね。
（恵比寿西です。）

EDIT: Noriko KOJIMA
編集発行人・青木正一
発行所・ストリート編集室
東京都渋谷区恵比寿西1-16-8-5F 〒150-0021
Tel.(03)3463-2190 Fax.(03)3463-2191
THE STREET EDITORIAL OFFICE
1-16-8-5F, EBISU-NISHI, SHIBUYA-KU, TOKYO, JAPAN